

かねがさき たたか 金ヶ崎の戦い にげるといふ決断



一五七〇年、織田信長は朝倉義景をせめると、徳川家康と共に大軍をひきいて越前の国（今の福井県）へ出発しました。戦いはうまく進み、信長軍は金ヶ崎の城を落としました。このまゝいけば越前は手に入る。だれもがそう思っていました。

ところが、妹のお市から思いもよらない知らせが信長にとどきます。お市の夫である浅井長政が、義景と手を組んで信長をはさみうちにしようと計画しているというのです。前には朝倉、うしろには浅井。お市はこのことを、両はしをしはつた小豆のふくろを送って知らせたと伝えられています。ふくろの中のねずみのように、にげ道がないという意味です。

（一）、信長はまよわず、にげることを決めました。しかし、信長がにげるために金ヶ崎城に残って、てきを食い止める者が必要でした。いちばんあぶない役目です。この役目に手を挙げたのが、木下藤吉郎、のちの豊臣秀吉でした。

藤吉郎は少ない兵で金ヶ崎に残り、追ってくる朝倉軍を食い止めました。そのあいだに信長は山を走りぬけ、京都へもどることができたのです。三か月後の姉川の戦いで、信長は浅井と朝倉をやぶりました。にげたからこそ、勝つ日が来たのです。

せんたく(1)

ぶん 文しように合うものはどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

- ① 信長は、はさみうちを知ってもせめた
- ② 浅井長政は、信長の妹の夫だった
- ③ てきを食い止めたのは徳川家康だった

せんたく(2)

ぶん 文しよの（ ）に入る言葉はどれですか？

えら 選んで○をつけましょう。

- ① しかし
- ② そこで
- ③ たとえば

きじゅつ(1)

いち お市は何を送って、信長にはさみうちの計画を知らせたと伝えられていますか？

きじゅつ(2)

かねがさき 金ヶ崎に残っててきを食い止めたのはどれですか？

漢字

かんじ 漢字に直して書きましょう。

(1) ひつじ

(2) やど

(3) きせつ

こたえ

金ヶ崎の戦い
せんたく

(1) ②
(2) ②

きじゅつ

(1) 両はしをしばった小豆のふくろ

(2) 木下藤吉郎

漢字

(1) 羊
(2) 宿
(3) 季節

ドリパパの国語テスト 国語テスト（小学3・4年生用）